

開封前に必ず2ページをご確認下さい。

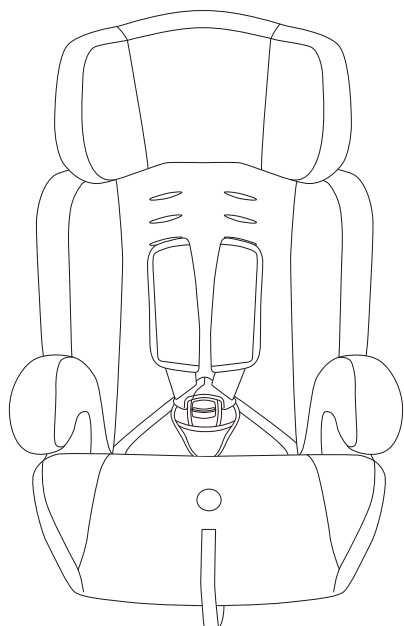


Neb:O

Airst ジュニアシート エアスト

対象年齢 1～11歳頃
体重条件 9～36kg

このたびは「ジュニアシート Airst<エアスト>」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
この製品を安全に正しく使用して頂くために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、十分に理解して組み立て、設置して下さい。
お読みになったあとも、手元におき大切に保管して下さい。



開封後の組み立て方法・注意事項 …… 2

- ご使用いただけるお子さまの条件 …… 3
- シートベルトの注意点 …… 4
- 取付けが出来ない座席 …… 5
- 警告・注意 …… 6
- 各部の名称 …… 7

お
使
い
に
な
る
前
に

- 肩ベルトの調整 …… 8
- 取付け方法 グループ1 …… 9
- 取付け方法 グループ2、3 …… 12
- 背もたれの取付け方法 …… 11
- 取付け方法 ブースターシートモード …… 14

取
付
け
方
法

- お手入れ方法「シートカバー」 …… 15
- お手入れ方法「その他」 …… 15
- 緊急時のご対応について …… 15
- 保証書 …… 16

そ
の
他

本製品は、輸送の関係上背もたれと座面を外した状態での梱包となっております。
 下記の手順に従って、ねじれ等が無いよう背もたれを設置し、正しく安全にご使用ください。

※本製品はインナーシートは含まれません。

開梱時

▲本製品は下図のように座面が90度横を向いた状態で梱包されています



座面裏側が背もたれの上に乗る状態で背もたれ接合部が作業者の手前になるように作業をはじめます。

1 座面フロント側目印



座面フロント側目印の穴が作業者の奥側になるよう座面を90度回転させます。

2



調整ベルトも同様にねじれが無いよう移動させます。

3



調整ベルトを背もたれ接合部の間にねじれが無いよう移動させます。

4



座面フロント側を持ち手前に起こします。この時、バックルを外します。

5



ジョイント部分に上からはめ込み手のひらで押し込みながら背もたれを起こします。

6



背もたれ取り付け完了となります。

- ①背もたれを取付ける際は、背もたれを寝かした状態でジョイント部分に上からはめ込み、手のひらで強く押し込みます。
 - ②手のひらで押さえ込みながら背もたれを起こします。
- ※背もたれを倒すと、背もたれを取り外すことができます。→14ページ参照



お子さまをけがや死に至る危険から守るため、この説明書の指示には必ず従ってください。

本製品は、交通事故などの場合に、お子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしもお子さまをけがや死から守ると保証できるわけではありません。

- 本説明書をよく読んでください。取付け方法が誤っていると、怪我につながる場合があります。そのような怪我の場合、メーカーは一切の責任を負いません。
- 開封後はただちに箱や袋をお子さまの手の届かないところに保管、または破棄してください。

ご使用いただけるお子さまの条件

本製品はご使用いただけるお子さまの体重条件と、お子さまの体格の適応条件が定められています。下記条件を守り、正しくご使用ください。

本チャイルドシートは体重9～36kgまで、ECE R44/04基準により認定されたグループ1、グループ2、グループ3に適しており、お子さまを守るために異なったグループの必要に応じて3つの取付方法ができるようになっております。お子様の体重に合わせて適正なポジションでご使用ください。



グループ1



お子様の体重 9～18kg 以下
年齢の目安 1～4歳頃



グループ2・3

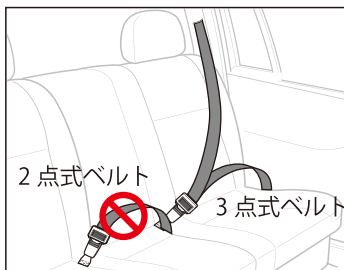


お子様の体重 15～36kg 以下
年齢の目安 3～11歳頃

- 本チャイルドシートは、進行方向に対して前向きでのみご使用ください。
- 月齢や年齢が適していても、規定体重を超えた場合、本製品を使用してはいけません。
- 体重が適していても、本製品にお子さまを正しく座らせた際に、お子さまの後頭部が本製品の背もたれからはみ出すようになったら、本製品を使用しないでください。

本製品は、上記のすべての条件を満たしたお子さまにのみご使用いただけます。
大変危険なため一つでも条件を満たさないお子さまには、絶対に使用しないでください。

シートベルトの注意点



本製品は、欧州標準（ECE-16 または同等基準）に準拠した3点式シートベルトを装備した車両での標準的な使用に適合しています。

※重要

チャイルドシートの取付けは、必ず腰ベルトと肩ベルトの両方を使用してください。

腰ベルトのみを使用してチャイルドシートを固定することは禁じられています。

シートベルトの種類と特徴		取付け方	
種類	特徴	チャイルドシート	ジュニアシート ブースターシート
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。	
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。	チャイルドシートの取付けが終わったら、シートベルトを全て引き出した後ベルトを戻し、チャイルドシート固定機能をきかせてください。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
NR	巻き取り装置の付いてないシートベルト。	チャイルドシートにあわせて、シートベルトの長さを調節してチャイルドシートを取付けてください。	
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなります。	ALR仕様のシートベルト車両には、仕様できません。	



警告

取り扱いを誤った場合、死亡や重傷などを負う危険が切迫する内容です。

- 使用条件に合致しないお子さまには絶対に使用しないでください。
- 本取扱説明書に従い正しくお子さまを固定してください。
- 本取扱説明書に記載された以上の分解や取り外しは絶対に行わないでください。
- 3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。
- 進行方向に対して前向きではない座席では絶対に使用しないでください。
- 破損した、または不足部品のあるチャイルドシートを使用しないでください。
- 衝突事故や落下させた時など、強い衝突を一度でも受けた場合は使用を中止してください。
外見上破損が見られなくてもダメージを受けている可能性があります。
- ダメージを受けている可能性がありますので、履歴不明な中古品は使用しないでください。

取付けが出来ない座席

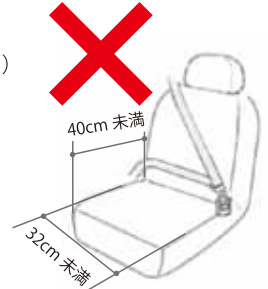
取付け出来ない座席

- × 2点式シートベルトの座席。
- × 進行方向に対して横向きの座席、また後ろ向きの座席。
- × シートベルトの付いていない座席。
- × パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは車の座席に座ってドアを開めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- シートベルトの取付け幅が 32cm 未満の座席。
(シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ)
- 座面の奥行きが 40cm 未満の座席。
- 極端なバケットシート。(座面の中央が深くへこんでいる座席。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- シートベルトが座席の中央から出ている座席。
(チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも前方向からシートベルトが出ている座席)



いかなる場合においても、エアバッグの装備された前部座席にチャイルドシートを取付けないでください。
※サイドエアバックのみの場合には使用出来ます。

- 本製品を取付ける事によって自動車の運転、操作に支障をきたす座席には使用しないでください。
- 安定して固定できない座席、しっかりと取付けできない座席には使用しないでください。
- 乗員の脱出に影響を与える座席には使用しないでください。

⚠ 注意



本チャイルドシートは、進行方向に対して前向きでのみご使用ください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡や重傷などを負う可能性が想定される内容です。

- 取扱説明書の説明に従い、必ず大人の方が取付けてください。
- 必ず毎回ご使用前に、正しく取付けられているか確認してください。
- 本製品が破損もしくは部品が不足した場合、または本製品の肩ベルトや車のシートベルトが劣化・磨耗・破損している場合は絶対に使用しないでください。
- 腐食性物質(例：電池が酸化したものなど)に、チャイルドシートが触れないようにしてください。
- 必ず車の純正シートベルトで固定し、紐などシートベルト以外のものでも固定しないでください。
- ロック部分(バックル等)がしっかりロックされていることを確認してください。
チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しないでください。
- 座席の背もたれを寝かせた状態で使用しないでください。座席の背もたれを倒した状態でチャイルドシートを使用した場合、衝突時にチャイルドシートの本来の性能が十分に発揮できません。
- 本製品を取付け後、車座席のリクライニングを操作しないでください。
取付けがゆるむなど思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品の下にクッションや敷物を敷かないでください。
本来の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。
- 衝突の際に障害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かないでください。
怪我の原因になるような荷物は完全に固定してください。
- お子さまが使用していない場合でも、チャイルドシートを常時座席に固定しておいてください。
思わぬ事故につながる可能性があります。
- 肩ベルトがゆるんだ状態では使用しないでください。
本来の安全機能が発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。
- お子さまのため長時間の連続使用は避けてください。
- お子さまを車内に一人で放置しないでください。
- 本来の使用目的以外の方法での使用はおやめください。
使用目的以外の方法でお使いになった場合メーカーとしての責任はとれません。



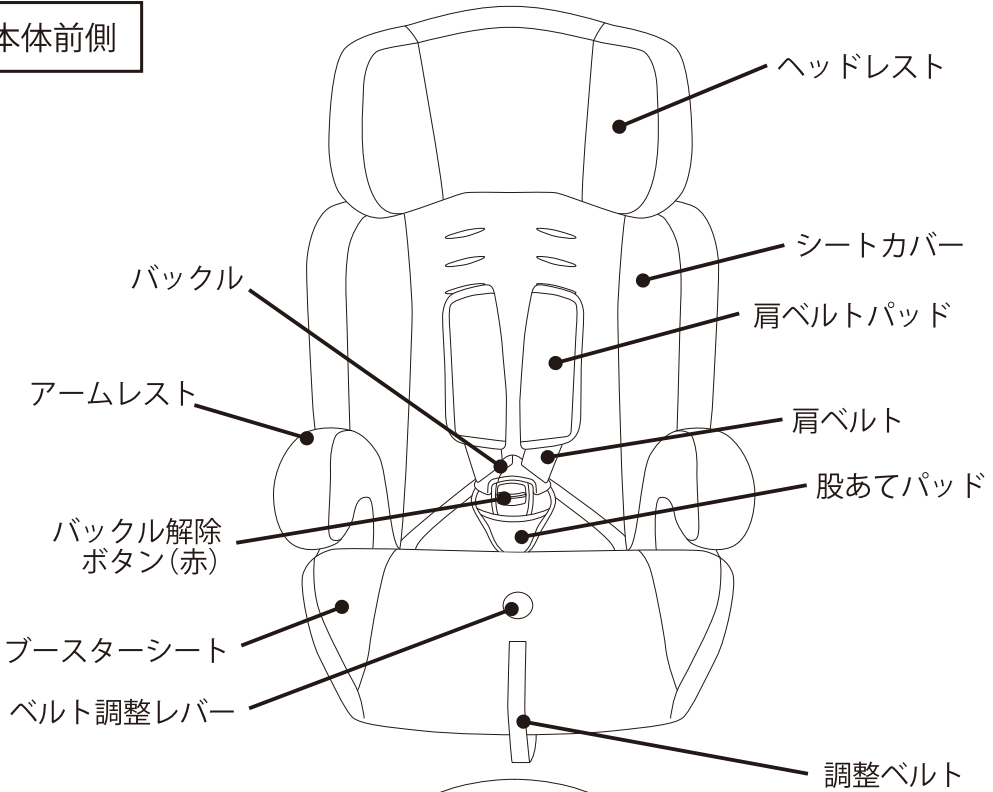
注意

取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

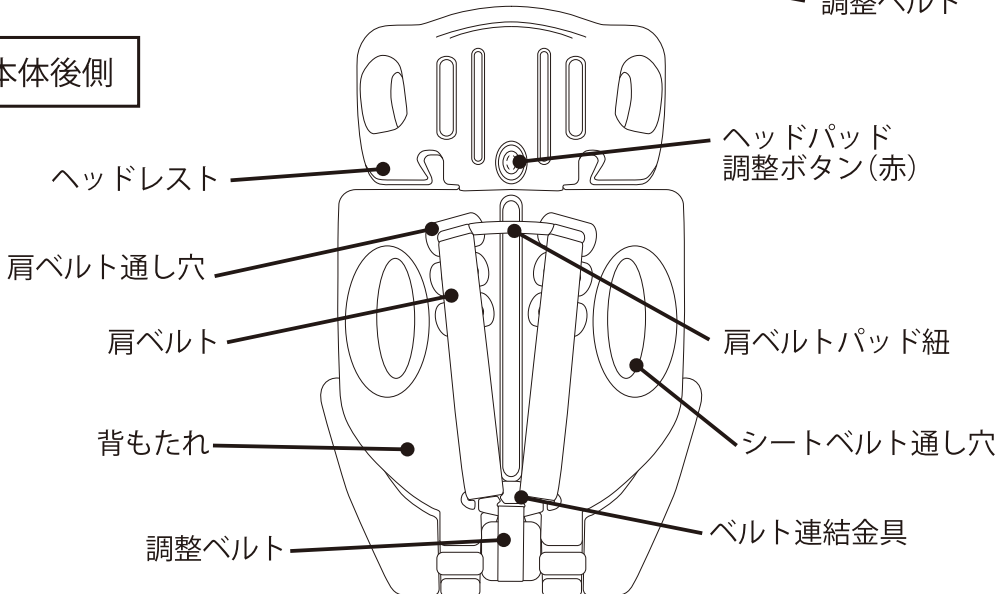
- 必ず保護者のもとで使用し、使用中もお子さまの安全には十分ご注意ください。
- 劣化・磨耗・破損がないか定期的にご確認ください。
- 野外に駐車した際は加熱に注意してください。直射日光のあたる場所では、本製品の金属部分やプラスチック部分が大変熱くなり、やけどをする恐れがあります。お子さまを乗せる前に過度に熱くなっていないか確認してください。野外に駐車する際はカバーをするなど加熱を防ぐ様にしてください。
- 本チャイルドシートにアクセサリなどを取付けたり、分解・改造を行ったりしないでください。
- 車のドアなどが本製品を挟みこんだり、本製品に干渉したりしていないかご確認ください。
- チャイルドシート本体からシートやクッションを取り外した状態では使用しないでください。
- 本製品を使用した際に、車の座席に本製品の跡や擦り傷が付くことがあります。予めご了承ください。

各部の名称

本体前側



本体後側

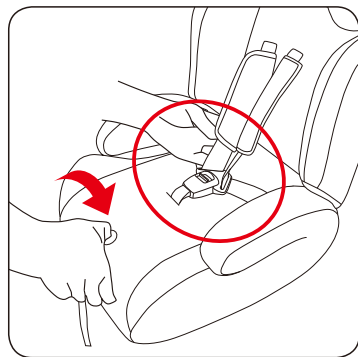


肩ベルトの調整

肩ベルトの長さ調節

ベルト調節レバーを押しながら、肩ベルトを引っ張ります。
※この際肩ベルトパッドではなく、バックル部分(○部分)あたりを引っ張るとスムーズに引き出せます。

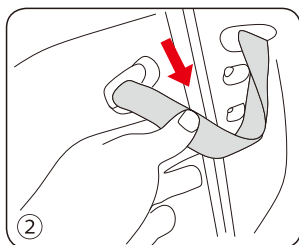
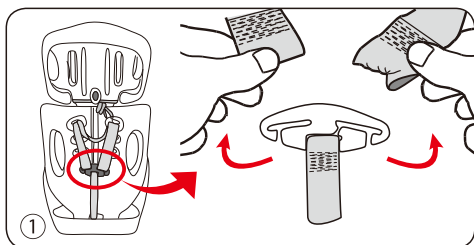
お子さまに合わせてベルトの長さを調節してください。



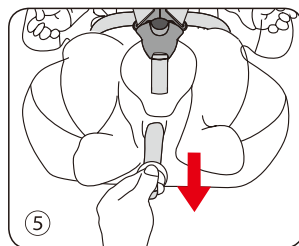
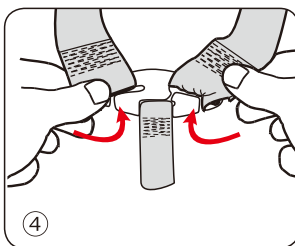
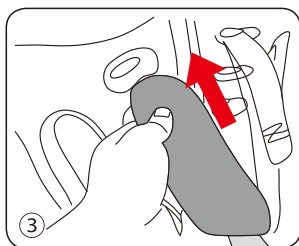
肩ベルトの高さ調節

肩ベルトの高さは3段階で調節が出来ます。

- チャイルドシートの肩ベルトの高さがお子さまの肩の位置に合っている事を確認してください。
- 肩ベルトは必ず肩ベルトパッドを通してから肩ベルト通し穴を通してください。
- 肩ベルトがお子様の肩と同じ高さ、または肩より高い位置になるように調整してください。

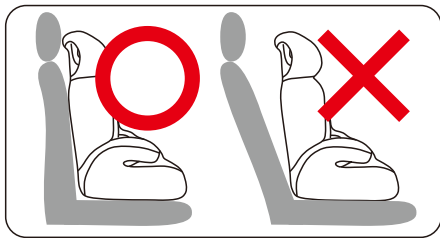


肩ベルトパッド



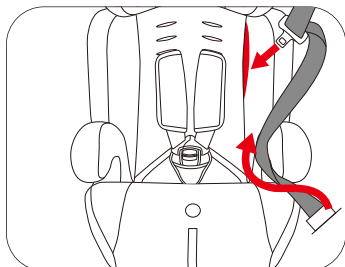
1. 左右の肩ベルトを本体後側のベルト連結金具から外します。(図①)
2. 肩ベルトを本体前側から引き抜き、次に肩ベルトパッドを本体後側から引き抜きます。(図②)
3. お子さまの肩の高さに合ったベルト通し穴にベルトがねじれないよう注意しながら、肩ベルトと肩ベルトパッドを通してください。(図③)
4. 本体後側に通し肩ベルトをベルト連結金具にかけます。(図④)
5. ベルト調節レバーを押しながら、調節ベルトを引っ張り、長さを調節します。(図⑤)

取付け方法 グループ1：9-18kg 以下(1～4才頃)

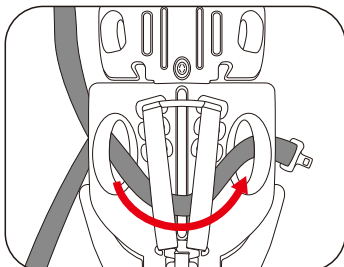


①チャイルドシートを車のシートに置き、チャイルドシートの背もたれと車の背もたれに隙間がないように接していること。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

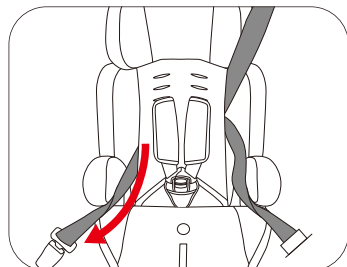
車のシートベルトを長めに引きだし、戻らないように押さえながら作業して下さい。



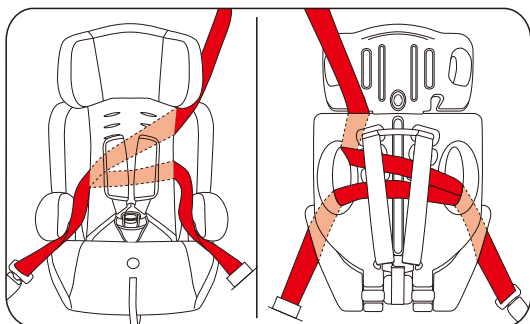
②シートベルト通し穴からシートベルトを後ろ側へ通します。この時、腰ベルトはアームレストの下を通して下さい。



③背面をまわして反対側のシートベルト通し穴からシートベルトを前面へ戻します。



④背面から通したシートベルトはアームレストの下を通して、バックルを留めて下さい。



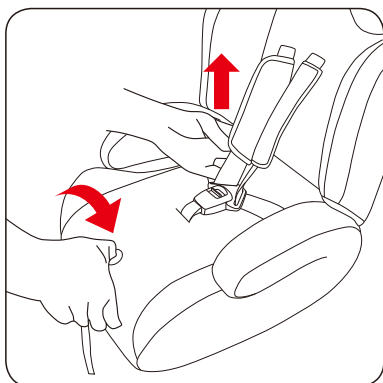
⑤全て通すとシートベルトは左図のようになります。最後にシートベルトのたるみがない様、余分な部分を引き戻し、しっかり固定できているかどうか確認します。

⚠ 注意

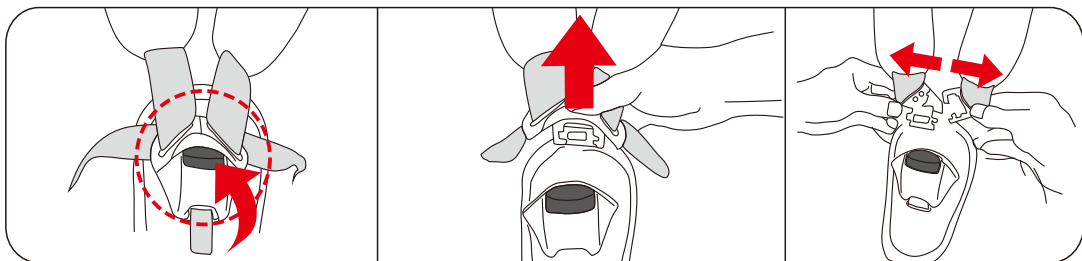
シートベルトは緩みやねじれのある状態で使用しないでください。

チャイルドシートの背もたれと車の背もたれに隙間がないように設置してください。

取付け方法 グループ1：9-18kg 以下(1～4才頃)



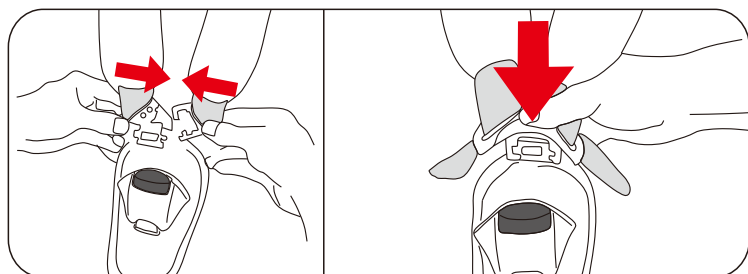
①ベルト調節レバーを押しながら、肩ベルトを引き、適当な長さに調節します。



②バックル解除ボタン(赤)を押して、バックルタングを解除し、タングを左右に開きます。

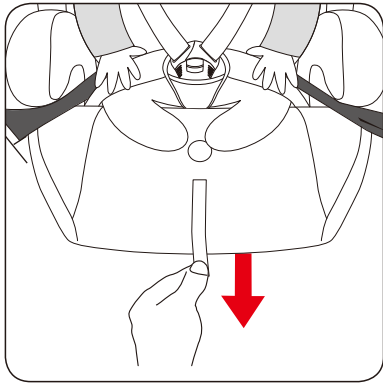


③しっかりと車両に固定したチャイルドシートにお子様を乗せます。



④お子さまに肩ベルトを通したら左右のタングを合わせて「カチッ」という音が聞こえるまで2つのバックルタングをバックルに差し込みます。

取付け方法 グループ1：9-18kg 以下(1～4才頃)



⑤調節ベルトを引きながら、肩ベルトの長さを調節します。お子様の鎖骨と肩ベルトの間に指が1本入る程度が適切です。

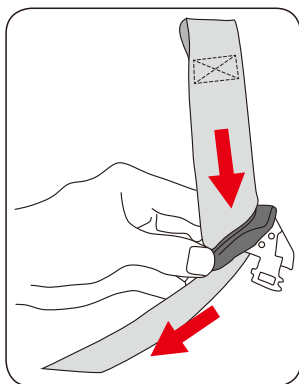
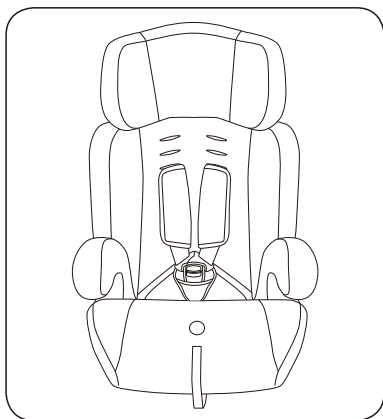


⑥お子さまが正しく乗せられたかを確認します。

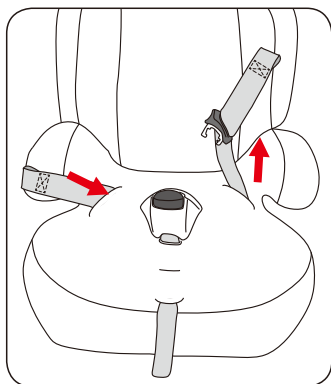
⚠️ お子さまの安全を確実にするために、以下をご確認ください。

- チャイルドシートのベルトを締めるときは、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指1本入る程度が適切です。
- 肩ベルトがねじれていないかを確認してください。
- 車のバックルが差込金具へ確実に差し込まれていることを確認してください。
- 肩ベルトと肩ベルトパッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であることを確認してください。
- 車の座席と背もたれの間になき間がないことを確認してください。
- シートベルトにゆるみ、たるみがないことを確認してください。
- チャイルドシート側面部分を前後にゆすり座面が大きく動かないことを確認してください。(目安：約3cm以内)

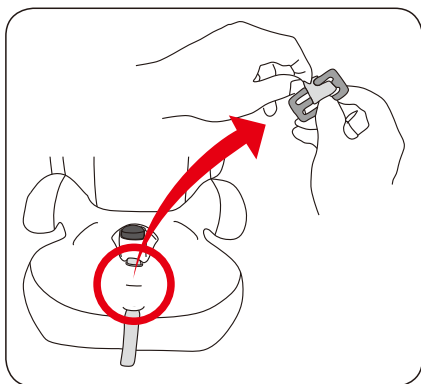
取付け方法 グループ 2、3 : 15-36kg 以下(3 ~ 11 才頃)



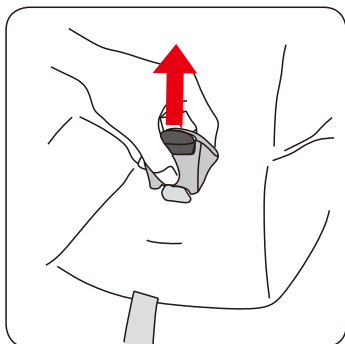
②左右片方のタングをベルトから外します。



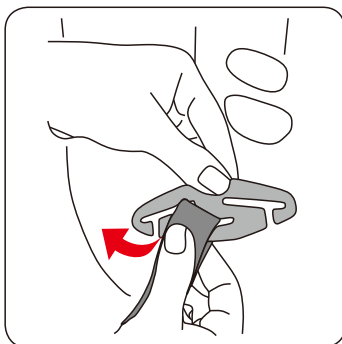
③座面からベルトを引き抜きます。



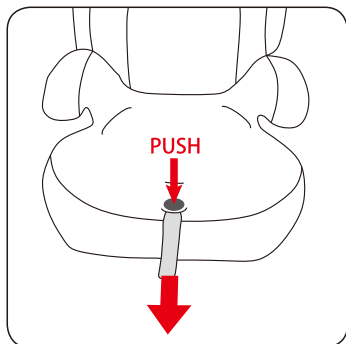
④ブースター部シートカバーをめくり(○部分)、バックル前方のバックルベルト取付け金具からバックルベルトを外します。



⑤座面の表から、バックルベルトを引き抜きます。



⑥本体後側のベルト連結金具から調節ベルトを外します。

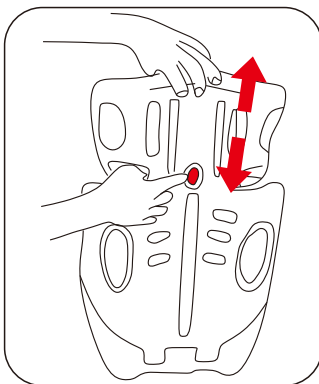


⑦ベルト調節レバーを押しながら、調節ベルトを座面から引き抜きます。

取付け方法 グループ 2,3 : 15-36kg 以下(3 ~ 11 才頃)



⑧チャイルドシートを車の座席に置き、お子さまを座らせます。



⑨本体後側のヘッドパッド調整ボタン(赤)を押し、ヘッドパッドの高さをお子さまに適した高さに調整してください。

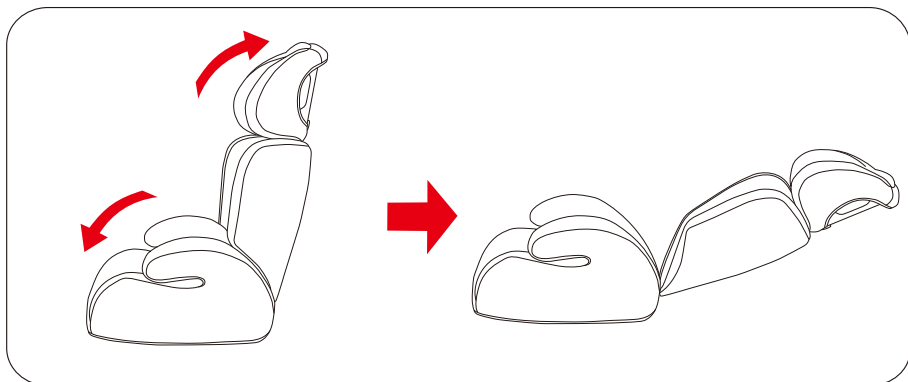


⑩車両シートベルトを引き出し、肩ベルトをヘッドレストと背もたれの間に通します。腰ベルトは左右のアームレスト下側を通し、車両のバックルに差し込みます。

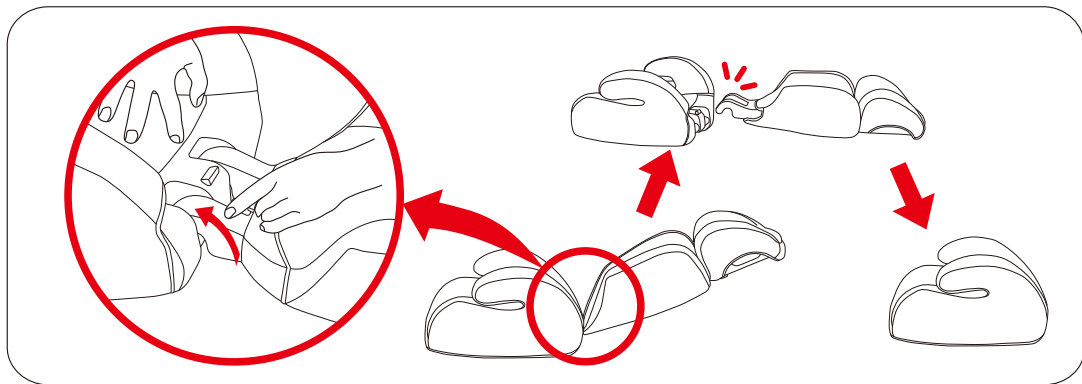
⚠ 注意

お子さまを座らせていないときも、車両シートベルトで固定した状態にしておいてください。

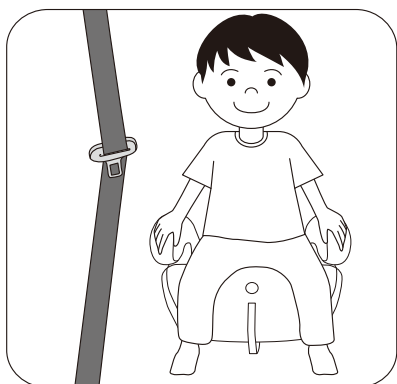
取付け方法 ブースターシートモード：15～36kg 以下(3～11歳頃)



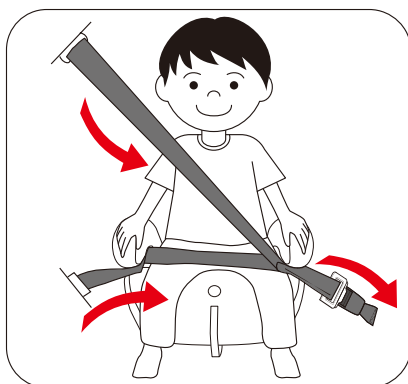
①背もたれを倒します。



②ブースター部を押さえ、背もたれの接合部(○部分)を上を持ち上げてブースター部から取り外します。



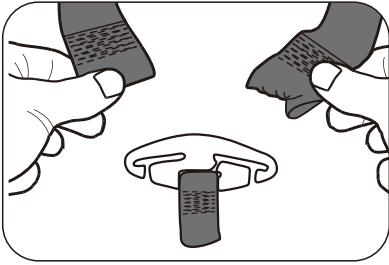
④ブースターシートを車のシートに置き、お子さまを乗せます。



⑤車両シートベルトを引き出します。肩ベルトをお子様の肩に沿わせて引き出します。腰ベルトはアームレスト下側の腰ベルト通し部を通し、「カチッ」と音がするまで差込金具を車のバックルに差し込みます。

お手入れの方法

シートカバーの外し方



ベルト連結金具から肩ベルトを外し、肩ベルトをベルト通し穴から引き出します。シートカバーのマジックテープと紐を外しシートカバーを本体から外します。

⚠ 注意

シートカバーはチャイルドシートの大いなる構成装置の一部です。シートカバーは必ず本体に取付けた状態で使用して下さい。弊社指定以外のシートカバーを使用しないで下さい。

シートカバーのお手入れ

- ・中性洗剤を使い30℃までのぬるま湯で洗ってください。
- ・漂白剤は使用しないでください。
- ・乾燥機は使用しないでください。
- ・ドライクリーニングにかけないでください。
- ・アイロンがけはしないでください。

その他のお手入れ

- ・樹脂部品の汚れは、湿らせた布で拭き取ってください。
- ・金属製の部品の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
- ・取り外し可能な部品に潤滑油を使用しないようにしてください。

緊急時のご対応について

緊急時は、慌てず速やかにお子さまを救出してください。通常の操作が(赤いボタンを押して解除)出来ない場合はチャイルドシートのベルトをはさみ等で切って、お子さまを降ろしてください。